

無鉛

F★★★★

# エポエース

エポキシ樹脂床用塗料

エポエースは、より簡単に施工でき、  
高機能な塗膜が得られる床用塗料です。

施工時、別の容器を準備することなく、希釈用の溶剤も必要ありません。

## ■特長

### 1.施工性に優れています。

A液:B液=3:1(重量比)で計量、混合、攪拌するだけで  
ローラーで容易に塗装できます。

### 2.耐薬品性に優れています。

エポエースの塗膜は、酸・アルカリ・有機溶剤等に優れた  
耐薬品性を持っています。

### 3.美装性に優れています。

耐アミンブラッシング性に優れています。

## ■製品仕様

### ●容量・配合比

品名	容量			配合比 (重量比)	
	A液	B液	セット	A液	B液
エポエース	9kg	3kg	12kg	3	1
	3kg	1kg	4kg	3	1

●常備色6色、標準色15色(受注生産)

●指定色も承ります。

※イエロー・赤系の明度及び彩度の高い色は、隠ぺい性が低いので、上塗り工程1層目に共色(調色品:白=1:1混合品)の塗装をおすすめします。

また、下地の色、凹凸の状況、下地の吸い込み等の条件によっては、上塗り工程が標準塗装回数より多くなる事があります。

※同一製品でも生産ロットが異なると、常備色・調色品共に色が異なる場合があります。

特に、材料追加注文などで異なるロットの製品を塗り継ぎした場合、仕上りに支障をきたす可能性がありますので、施工の際は、同一ロット同一方法で、見切りのいいところまで仕上げて下さい。

### ●一般物性

試験項目	試験結果	試験条件
引っかき硬度	2H	JIS K 5600 鉛筆法
鏡面光沢度	95	JIS K 5600 入射角60度
摩耗質量	45mg	JIS K 7204 テーバー式摩耗試験機
耐おもり落下性	合格	JIS K 5600 デュポン式(500g×50cm)
付着性	100/100	JIS K 5600 クロスカット法・モルタル板
上塗可能時間	5~48時間	23℃
歩行可能時間	12時間以上	23℃
可使時間	4時間	23℃



東日本塗料

# ■標準工法

工法名		材料名	使用量 (kg/m <sup>2</sup> )	上塗可能時間 (23℃)	備考
1	<b>コーティング工法</b> (総合塗膜厚約0.2mm) 	1 素地調整	—	—	施工上の注意事項をご参照下さい。
		2 フロンプライマーH ※1, 3	0.2	2~24時間	A液：B液=1：1（重量比）の割合で計量、混合、電動攪拌機で攪拌後、中毛ローラーにて塗布。
		3 エポエース	0.15	5~48時間	A液：B液=3：1（重量比）の割合で計量、混合、電動攪拌機で攪拌後、中毛ローラーにて塗布。
		4 エポエース	0.15	12時間以上 (軽歩行開放時間)	
2	<b>プラチック仕上げ工法</b> (総合塗膜厚約0.9mm) 	1 素地調整	—	—	施工上の注意事項をご参照下さい。
		2 フロンプライマーH ※1, 3	0.2	2~24時間	A液：B液=1：1（重量比）の割合で計量、混合、攪拌後、ローラー、ハケにて塗布。
		3 エポエースフロンプラチック ※2	0.15 0.0075	5~48時間	A液：B液=3：1（重量比）の割合で計量、攪拌したエポエースにフロンプラチックを5%加えて、中毛ローラーにて塗布。
		4 エポエースフロンプラチック ※2	0.15 0.0075	12時間以上 (軽歩行開放時間)	
3	<b>防滑工法</b> (総合塗膜厚約1.2mm) 	1 素地調整	—	—	施工上の注意事項をご参照下さい。
		2 フロンプライマーH ※1, 3	0.2	2~24時間	A液：B液=1：1（重量比）の割合で計量、混合、電動攪拌機で攪拌後、中毛ローラーにて塗布。
		3 エポエース	0.15	直 後	A液：B液=3：1（重量比）の割合で計量、混合、電動攪拌機で攪拌後、中毛ローラーにて塗布。
		4 フローン珪砂6号 又は7号(追吹付)	0.3	12~24時間	工程3の直後、リジガン（口径3~4mm）にてフローン珪砂6号又は7号を散布。硬化後、余剰なフローン珪砂を除去。
		5 エポエース	0.2	5~24時間	A液：B液=3：1（重量比）の割合で計量、混合、攪拌後、中毛ローラーにて塗布。
		6 エポエース	0.2	12時間以上 (軽歩行開放時間)	

※1 吸い込みムラがある箇所はもう1回以上塗布して下さい。

※2 フロンプラチックを用いたローラー工法では、フロンプラチックを均一に仕上げるため、必ずローラーネットを用いて施工して下さい。

※3 緻密なコンクリートの場合は剥離の可能性があるので、フローンエポコラ速乾での密着試験を推奨いたします。

## ■施工上の注意事項

1. 下地は、砂、ゴミ、ホコリ等を完全に除去して下さい。また新設コンクリート、モルタル面の表面には、レイタンス(遊離アルカリ)による脆弱層が形成されるため、密着不良の原因となります。必ず、ワイヤー付きポリッシャー等でレイタンス層を完全に除去して下さい。
2. コンクリート・モルタルの養生不足は、水分の影響によりフクレ・硬化不良を、また、アルカリの影響により密着不良が発生する恐れがあります。コンクリート・モルタルは打設後、常温乾燥で夏期3週間以上、冬期4週間以上の期間が必要です。目安として、含水率が高周波水分計社製HI-520-HI-520-2で測定し、コンクリートレンジの表示値が5%以下、かつpH9.5以下になってから施工して下さい。また、降雨直後で下地が水分を含んでいる場合は、2日以上乾燥させて下さい。
3. コンクリート、モルタル等に発生した亀裂は、Uカットして、フローンエポパテ等を充填し、亀裂面が平滑になるように研磨処理して下さい。
4. エポエースは、2液の反応型塗料ですので、**配合比はA液：B液=3：1(重量比)**で計量し、電動攪拌機にて充分攪拌したのち使用して下さい。
5. A液とB液の混合と同時に反応が進み、次第に粘度が上昇しゲル化しますので、使用可能時間(ポットライフ)内に使い切るようにして下さい。**使用可能時間(ポットライフ)は4時間(23℃)**です。施工時の温度、施工面積、作業人数等を考慮して、無駄のないように材料の配合をして下さい。
6. 床面に貼り付けたラインテープ等を除去する際、塗膜が剥がれる場合があります。
7. 床暖房やロードヒーティング床面に塗装しないで下さい。剥離や雪解けが悪くなるなどの不具合が生じる場合があります。

8. 基本的にシンナー希釈は必要ありませんが、希釈が必要な場合には、**ソルエポシンナーで0~5%希釈**してご使用下さい。5%以上希釈しますと、仕上がりに支障をきたします。

9. エポエースは溶剤型塗料ですので、火気と換気には充分注意して下さい。

10. 気温5℃以下、湿度80%以上では施工しないで下さい。硬化時間、硬化後の性能は、施工時の温度に大きく影響されます。

10℃以下 硬化後退 (カブリ、しわ、軟化発生)	15℃~25℃ 最適	30℃以上 硬化促進 (ポットライフ短縮)
--------------------------------	---------------	-----------------------------

11. 開封後はすみやかに使い切って下さい。
12. 施工時には引火、爆発、中等等の事故防止のため、充分な換気をし、有機ガス用防毒マスク、保護メガネ、保護手袋等の保護具を着用して下さい。発火原因となる電気溶接、ガス溶断との並行作業は避けて下さい。
13. 直接皮膚に触れないように十分に注意して下さい。もし触れた場合、ウエス等で十分に拭き取り、中性洗剤で洗って下さい。
14. 材料の保管、取り扱いについては、消防法、労働安全衛生法、その他に基づき充分な管理をお願いします。
15. 動植物に影響を及ぼす可能性がありますので、施工時および施工後の換気を充分に行ってください。
16. 塗料、塗料容器、塗装具を廃棄する時は産業廃棄物として処理して下さい。

引火性あり	警 告	有害性あり	感作性あり
	1. 引火性の液体である。 2. 有機溶剤中毒の恐れがあります。 3. 健康に有毒な物質を含有している。 4. 皮膚に付着するとかぶれを起こす恐れがあります。 5. 蒸気を吸入すると人により喘息様症状を起こすことがあります。		
<b>業務用</b>	<b>《注意事項》</b> 1. 通常の塗料に比べて幾分毒性が強く、吸引したり皮膚に触れたりすると中毒やかぶれ、また重い健康障害を起こす恐れがありますから取り扱いについては <b>容器に表示された注意事項を守って下さい。</b> 2. アレルギー性等の特異体質、皮膚過敏症や呼吸器官系疾患を有する人は、取り扱いを避けて下さい。 (呼吸困難や喘息を引き起こす恐れがあります。) ※詳細な内容が必要な場合には、安全データシート(SDS)をご参照下さい。 ※SDSは弊社HPにて閲覧、ダウンロードしていただけます。トップページから製品情報のページにアクセスし、各種SDS一覧をご参照下さい。		

●お問い合わせは.....

## 東日本塗料株式会社



本 社 / 〒124-0006 東京都葛飾区堀切3-25-18 TEL.03(3693)0851(代) FAX.03(3697)2306  
 埼玉工場 / 〒347-0017 埼玉県加須市南篠崎1-13 TEL.0480(65)1515(代) FAX.0480(65)1518  
 仙台営業所 / 〒983-0045 仙台市宮城野区宮城野1-4-20 TEL.022(291)7372(代) FAX.022(291)7320  
 新潟営業所 / 〒950-0871 新潟市東区山木戸3-7-9 TEL.025(273)5749(代) FAX.025(274)6730  
 静岡営業所 / 〒422-8037 静岡市駿河区下島128-1 TEL.054(238)8061(代) FAX.054(238)8063



※製品改良のため、予告なく仕様、性能、カタログ内容を変更する場合があります。  
 ※諸官公庁等の特記仕様がある場合には、それを最優先して下さい。

URL <https://www.hnt-net.co.jp> CATALOG NO.24 '23.01.3000